

第 17 回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成30年5月18日（金）13：30～15：30

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者：山村会長、乾副会長、堀川委員、中井委員、松尾委員（代理：小西様）、西村委員、霜永委員、島中委員（代理：今谷様）、金口委員（代理：森本様）、山口委員、後藤委員（米田様）、吉崎委員、藤井委員、古田委員、吉田委員

欠席者：永田委員、吾妻委員

1 開会進行（事務局）

会議成立及び欠席者の報告。委嘱状の配布（机上）。

2 会長あいさつ

○会長

本日は、多忙にも関わらず、第17回広陵町地域公共交通活性化協議会に出席いただき、お礼申し上げます。委員の皆さまには、任期を改めて、また2年間よろしく願います。

去る3月24日は広陵町交通のシンポジウムを開催した。公共交通のあり方について大阪大学の先生の講演とパネルディスカッションで議論いただいた。

また、シンポジウムに先立ち、昨年8月に近畿運輸局の力添えで締結した地域連携サポートプラン協定に基づいてまとめていただいた地域連携サポートプランの提案書も頂戴した。広陵元気号の運営効率化、利用促進、利用啓発・意識醸成を重要課題として分析いただき、提案をいただいた。広陵元気号の本格運行からほぼ2年になるが、活性化協議会で議論いただいて対策を講じ、その結果、徐々に認知度が高まってきている。改めて検証して、課題と対策について整理をし、さらに利用度を高めたい。費用対効果の議論も大切だが、何よりも公共交通を必要とする方々へのサービスを向上させ、みんなで育てていくことが大切だと思う。本日も案件多数だが、慎重審議をお願いします。

なお、一昨日5月16日に西部支線にて、衝突回避のための急ブレーキが原因で、乗客3名が負傷した。奈良交通から詳細報告をしていただく。

○奈良交通

一昨日16日の11時頃、交差点にて右折する際、自転車に気付くのが遅く急ブレーキをかけることとなり、そのことで3名の乗客が負傷した。乗務員の再教育については昨日から行っている。また、山村町長をはじめ、副町長、奥田部長まで負傷された方へお見舞いに足を運んでいただき、本当に感謝申し上げます。今後事故のないように努める。申し訳ございませんでした。

3 議題

(1) 平成29年度事業報告について

【事務局説明】

資料1、2、3、4、5の説明。

【質疑応答・意見交換】

○委員

いつまで運賃100円で運営するのか。100円では安いという声もある。また、利用される方が固定的になる。

○事務局

いつまでという答えは持っていない。30年度はダイヤ等も含めて見直しのタイミングなので、協議会でも議論していただけたらと思う。

○会長

ご意見としていただく。利用者が固定しているところもあるので、しっかりPRしていく。まず1歩踏み出して乗車してもらうにはどうしたらいいか。7月28日29日に大和鉄道開通100周年記念イベントを行うが、箸尾駅に行く北東部支線では大型バスは入れないがどうしたらいいか。ICカードが利用できるのは意外に思っていたかおり、評価が高い。各委員から、他のことでもいいので意見を聞きたい。

○委員

昔は奈良交通のバスが走っていたが、廃止された。広陵町を陸の孤島にはいけないという思いで、私もコミュニティバスの立ち上げに携わった。課題はいろいろとあるが、利用者は右肩上がりである。皆さんの知恵をお借りして、もっと利用者を増やせればと思う。

○委員

老人会では健康の取組みをいろいろ行っている。KEEPでは介護リーダーにも来てもらっている。昔は車の時代だったが、バス乗り場まで歩くことが健康づくりになる。健康なうちからバスを利用して老化予防を行いたい。また、高齢者の免許返納については、以前に話が出てから具体化されているのか。100円200円のバス無料券だけではなく、もう少し思いやりが欲しい。高齢者が誘いあってバスに乗って集まることができる語りの場が欲しい。

○事務局

免許自主返納についてはただいま準備を進めていて、広陵元気号の回数券を配る段

取りをしておりサンプルもできているが、香芝警察署とも相談しながらPRもする予定だが、今はまだ最終の調整の段階なので、もうしばらくお待ちいただきたい。

○委員

やはり現在の課題は、目的地に直線コースで行けないこと。デマンドタクシーと併用してはどうかということ。まずは利用者を増やすプランがあればと思う。

○委員

先日、奈良交通の十津川村ツアーのバスに乗った。バスに長時間座っているのは苦痛だが、アナウンスやミュージックが流れており、非常に楽しかった。仲間とはまたこのバスに乗って十津川村に来ようと話している。広陵元気号は乗り合いバスで、観光バスではないが、ミュージックなどが流れているなど、もう少し楽しさがあれば話題にもなり利用が増えるのではないか。

(2) 平成29年度決算について

【事務局説明】

資料6の説明。

(3) 平成30年度予算(案)について

【事務局】

資料7の説明。

(4) 平成30年度安心して暮らせる地域公共交通確保事業について

【事務局】

資料8の説明。

【質疑応答】

○委員

アンケートの内容は協議会で決めるのか。

○事務局

15歳以上の町民を無作為抽出し、2,000名を対象にする考え。内容については来月の活性化協議会でその際に意見をいただく予定である。

(5) 平成30年度事業計画(案)について

【事務局】

資料9の説明。

(6) 広陵元気号の利用促進について(案)

【事務局】

資料10の説明。

【質疑応答・意見交換】

○委員

標語の優秀者には広陵元気号の年間パスポートを提供するとのことだが、真美ヶ丘地区の小学生が広陵元気号に乗るのか。図書カードなどにしたほうがいいのか。

○事務局

何か広陵元気号に関連したものでないといけないと考える。

○会長

他に委員から、どのようなことでもいいので意見はないか。

○委員

今日初めて電車で箸尾駅に来て、広陵元気号に乗って役場までやって来た。広陵元気号は町内をくまなく網羅している。鉄道の2次交通として重要な役割を担っていただいているので、今後とも鉄道も一緒になって盛り上げていきたい。

○委員

3月のシンポジウムに参加いただき、感謝する。この場でお礼申し上げる。運輸支局としてサポートプランを提供させていただいた。それをうまく活用いただいている。今後とも協力を願う。

○委員

今年は大和鉄道100周年記念イベントがあり、地元の区長として楽しみにしている。多くの方が元気号に乗ってイベントに来ていただけたらと思う。

○委員

新聞にバス運転手の人手不足が取り上げられていたが、奈良交通はどうか。

○奈良交通

人材不足は弊社でも課題としている。コミュニティバスは比較的小さいバスが多いので、経験年数が浅い運転手が担当することになっているが、入社してすぐ半年間は大きなバスを運転させるなど、研修を重ねて資質向上に努めている。

○委員

コミュニティバスは町内を循環するので、目的地に着くのは着くが、ぐるっと回っ

てかなり時間がかかるということがある。特に高齢者はそのことに気づかず乗車することがあるので、乗務員の方には所要時間なども丁寧に教えて欲しい。

4 その他

○事務局

次回の会議は、6月19日の午前10時を予定している。詳細については後日追って連絡する。

5 閉会

○会長

本日は、お忙しい中協議いただき、感謝する。